

岐阜広告協会員ら 温泉施設など視察

可児市

岐阜広告協会(杉山幹夫会長)の会員らが26日、可児市大森のバローホールディングス人材開発センター「嫩葉舎」と、温泉施設や産直市場などからなる同市土田の「湯の華アイランド



湯の華の呉本勝男会長(中央)の話を聞く
参加者=26日午後、可児市土田、湯の華アイランド広場

広場」を視察した。同協会は県内の企業や広告代理店など54社が加盟している。嫩葉舎はバロー創立60周年記念で今年4月に開設された施設で、研修や宿泊施設、歴史館を備える。同広場の運営会社「湯の華」は、今年3月にバーベキューやオートキャンプが楽しめる施設を広場内にオープンさせている。

視察では同市観光協会長

でもある、湯の華の呉本勝男会長が講話した。呉本会長は地域を巻き込んだこれまでの事業を振り返りながら、「地域振興は一過性でなく、継続できる仕組みが必要で、効果がなければ変えなければいけない。気が付かずに満足して、同じことを続けていないか」などと話した。(原田大介)